ROYALTY FREE JAPANESE ANIME/GAME SONGS
COMPLETE PACK

この度は、「Royalty free Japanese anime/game songs COMPLETE PACK」をダウンロードして頂き、誠にありがとうございます。当製品はインスト・ボーカル素材全 128 曲を収録した音楽素材集で、ゲーム・アニメ・ドラマなどの様々なコンテンツに携わるクリエイター向けの製品です。各楽曲の利用規約に同意の上、ご利用ください。

当楽曲があなたのクリエイティブな活動のお役に立ちましたら幸いです。

Trial & Error

歌詞一覧

1･2の3･4 4
失墜ベルゼブブ 5
BLACK WORLD 6
Blaze Up 7
brave heart ～明日へ続け、空に向かえ～ 8
愛を抱えて 9
DAI☆TAN センセーション 10
DAI*TAN SENSATION 11
暁の眠り 12
怨恨白昼夢 13
臆病デカラビア 14
In the deep forest 15
水底に沈む光 16
ディザイア 17
崩壊の果てノ戦意 18
Eagle 19
星空逃避行 20
永遠と唄 21
Euphoria ～幸福の檻～ 22
The fairyland 23
farewell song 24
絶賛☆運命中 25
Fighter 26
Game 27
がーる･あんびしゃす☆ 28
Veridical Greed 29
Hades 30
花夢の街 31
蝶と薔薇の罪と罰 32
ICON –螺旋精製、功労功績その贖罪- 33
薄幸の拾い物にぬくもりを 34
キラキラ お願い 35
sweet hurt kismet 36
嘘つき白百合 37
ヒトリノモリ 38
鬼畜魔王と童貞勇者 39
L'afes melferter(յեբիաբ ցաշաբուսի) 40
Memory 41
思い出は影 42

a wandering minstrel 43
青のモラトリアム 44
MY station 45
常闇の契約　ケガレタショウジョ 46
Overflow 47
サマヨウイタミ 48
怪盗Ｘと純情探偵 49
プライド 50
虹色の未来へ 51
Rainy day 52
傍白のリフレーン 53
KICK THE REGRET 54
干渉レジスタンス 55
再会の約束 56
たいあたり★ロマンス 57
Snow Roads –それぞれの旅路- 58
ほし☆うた 59
熱帯夜 60
向日葵のエチュード 61
禁忌 62
There is not your will there 63
刻限　～Time Limit～ 64
true 65
Gasluifesen*Tydiesto(ɲɸɒʒɔnɱuɒuю*иɤɯnuɒиэ) 66
White world 67
かぜのしらせ 68
White Wish 69
Wiasta Yeqma(Ⓛɑɔɾzɔ Λcɜ̈ɵɔ) 70
ヨルヲカケル 71
俺とオマエと 72
ゆとりアドベンチャー 73

１・２の３・４

１・２の３・４でふわふわ　ときめくココロ
ぎゅっと抱きしめて　キラメク恋を感じてる

どうして？　どうして？　キミが好きなんです
いつでもそばに居たいの
ホントにホントにキミは好きなんです？
もっと無邪気なトコロ見せて

ねぇこっち向いてよ
ねぇ手を繋いでよ
想い巡らす　lovin' you
この甘酸っぱい実をはじけさせたい
射抜いてみせて

１・２の３・４でキラキラ　ときめくココロ
瞳を閉じて　優しいキスで教えて
１・２の３・４でドキドキ　近づく距離が
きっと褪せない想い
キミの温もり感じてる

見つめて見つめて　目が合い照れます
2m の遠隔戦
聞いてね聞いてね　何も言わないで
もっとホントの気持ち知って

スカート跳ねても
ため息してても
想い巡らす　lovin' you
雨降りも晴れたら虹をかけて
走りだそう

１・２の３・４でワクワク　冒険しようよ
「不器用だね」って後ろ歩きで手をひいて
１・２の３・４でふわふわ　あの日の記憶
２人だけの合図
魔法の言葉忘れない

１・２の３・４でぎゅっとね　指切りげんまん
はんぶんこのケーキをフォーク１つで分け合って
１・２の３・４でせーので　駆け上がろうよ
きっと褪せない想い
キミの温もり感じてる

ずっと褪せない想い
願い重ね合せて

せーの！

失墜ベルゼブブ

蠅の様に無様な羽根
雨の夜に踊るだけ

昔は昔 今は今
二面性？勘弁せい
僕も君も変わりゃしない
しないのさまるで

蝶々になって頂戴よ Lady
完璧な失墜の前に
疑問愚問重ねてよ
残酷でおざなりな未来

亀の様にご立派なアレ
前の夜に暴発だって
自尊だけあったら人間なのよ
それさえも捨てた僕ら

苦い汁を飲み干して
依存症？もうどうしよう
僕と君の違いなんて
無いのさきっと

少女のまんま抱かせてよ
完璧な失墜の為に
Hello, Ride on! 鍵を挿して
損得はもう必要ないでしょう？

いつも Night & Day 情欲
言葉だけでは傷も癒えない
完全に fall into disgrace

蝶々になって It's All right よ Baby
完璧な失墜の後に
疑問愚問重ねてよ
手のひら返さないで

伽藍堂の Say so...
Hello, Ride on 鍵は折れて
どうして儚げに
消える消えるその続き

NonNonNonNonNonNon
Fall....

BLACK WORLD

首筋に流れる汗　見透かされた秘メ事
いつもの見慣れた景色　歪んで暗色に変化

空に響く笑い声は消えない
Run away! DO NOT stop!　引き裂かれる!!

規則に反する者には罰が与えられた
後ろを振り向いたら恐怖に侵されるだけで

最後の逃げ道さえ見破られ塞がれてしまう
この世界で微笑む事を誰も許されてはいない

Blaze Up

つまさき立ちで覗いた未来
壁の向こうには何も無い？

そうだ この先を描くのは僕なんだ
いつも目を背け逃げてきた自分に

"サヨナラ"を…

花よ咲け 誇れその生き様を
誰よりも輝ける命よ
凍えた世界に撒き散らす花びらは
心燃やす Blazing up！Blazing up！
掻き立てろ！

例えばそう君がいつか
夢を亡くして彷徨っても

そうさ その先を描くのも君なんだ
どうした？止まらないで
もう一度行くのさ

"立ち上がれ"

花よ咲け 誇れその生き様を
誰よりも輝ける命よ
汚れた時代を駆け抜ける眩しさは
希望照らす Blazing up！Blazing up！
駆り立てろ！

そうだ この先を描くのは僕なんだ
いつも立ち向かい傷ついた自分に

"ありがとう"

花よ咲け 誇れその生き様を
誰よりも輝ける命よ
凍えた世界に撒き散らす花びらよ
春が終わるまで大地を彩り
Blazing up！Blazing up！
燃え盛れ！

brave heart ～明日へ続け、空に向かえ～

どこまでも歩いていけるよ　なんてさ　ね
お菓子と勇気だけ　持って行こうとした

必ず僕らたどり着く　夢の城　空の果てにある
誰にも知られない　僕たちだけの場所　そうさ

明日へ続け　空に向かえ
空想(あこがれ)の道は　つながっているよ
両手広げ　声を出して
信じ続けてく道がここにあるように

十字路でまたあした　夢のつづき持って
いつかわかれていく事　予感していた

このまま　僕ら　勇者だと　木の剣で　誓い合う　空
忘れてた感情　よみがえる今こそ　そうさ

明日へ続け　空に向かえ
胸　にしまってた　言葉たち紡ぐ
誰にだって　止められない
勇ましいリズム　刻み続けてるから

明日へ続け　空に向かえ
草　踏み音合わせて　言葉たち紡ぐ
誰にだって　止められない
空想(あこがれ)の道を　歩み続けてるから

剣(ココロ)で今誓う　空へ

愛を抱えて

空を泳ぐ雲に乗り
君に逢いにゆく春模様

誰かが飛ばした
赤い風船
ゆらゆら揺れてる
何かに導かれ

愛を抱えて
君に届けにゆくよ
少し大人になった僕の
想いを受け取って

夜の海を越えてゆく
強い風が向かってきても

凍えて眠った
闇の向こうも
キラキラ輝く
星々の微笑み

愛を抱えて
君に届けにゆくよ
きっと今なら言えるはずの
言葉を胸に秘め

君を愛してるって
気付いたあの日から
この旅は始まっていた

DAI☆TAN　センセーション

DAI☆TAN 不敵
エキセントリック
これはもしや恋ではっ！？
Hey are you ready? (Yes!) エボリューション

ふにゃみな月曜日が
やってきたぞ
あれもこれも
圧倒的無気力↓↓
すごい魔法をかけて
やる気ぐんぐん
そんなことが
あったらいいのに

時間かけた髪
めっちゃダッシュしてくしゃくしゃ
ちょい…待ってよ…
ガチで凹むーー！

DAI☆TAN 不敵
エキセントリック
これはもしや変ではっ！？
ちぐはぐハグハグ
ホントのキモチ
ぐるぐるまわる
酸いも甘いも おかし
Hey are you ready? (Yes!) エボリューション

間に合え 滑り込みだ
やればできる
あれれ？これは
飛躍的成長✌✌
一段飛ばしで登る
せっかちさんです
もっと時間
あったらいいのに

弱火 5 分なら
強火 2 分余裕でしょ
あれ…？　待ってよ…
めっちゃ焦げてるーー！

DAI☆TAN 不敵
神出鬼没
これはもしや恋ではっ！？
ふわとろチキンハート
右へ左へ
∞にまわる
微分積分いい気分
Hey are you ready? (Yes!) レボリューション

DAI☆TAN 不敵
エキセントリック
これはもしや恋では
ちぐはぐハグハグ
右へ左へ
ぐるぐるまわる
酸いも甘いも おかし
七転八倒(ハイ!)センセーション

DAI*TAN SENSATION

DAI☆TAN FUTEKI
Out of left field
Is this maybe a love? I am not sure!
Hey are you ready? (Yes!) Evolution

Lazy and sleepy Monday
Has returned
This and that surely
Make me super-spiritless
Special magic will then do
Hype me up like this
I hope that
Happens for real everyday

Timely well set hair
Messed by a bike ride at high speed
Hold on a sec
That simply sucks!!

DAI☆TAN FUTEKI
Out of left field
Is this awkward? I am not sure!
Disparity "Hug Hug"
True feelings in my heart
Turns round and round around
Both sweet and sour are candy
Hey are you ready? (Yeah!) Evolution

Make it in time, slide in!
I can do it now
Hmm? This is a
Sensational build-up!
Skips one-step above yeah
I am hasty girl
I wish I had
more time everyday

If low-heat for 5 minutes,
High-heat for 1 minute would be OK
Huh? Wait a sec
It's already burnt!!

DAI☆TAN FUTEKI
From out of the blue
Is this maybe a love? I am not sure
Tender-oozy coward heart
Right-to-left and left-to-right
Infinitely around
Taste Blast! Do my best!
Hey are you ready? (Yes!) Revolution

DAI☆TAN FUTEKI
Out of left field
Is this maybe a love? I am not sure
Disparity "Hug Hug"
Right-to-left and left-to-right
Turns round and round around
Both sweet and sour are candy
Persistence (Hi) sensation

暁の眠り

思い出の墓標を　彷徨い歩いた
大樹の根にいだかれ　ゆらりゆらり

声が枯れるほど　名を呼んで　ゆりかごの中
痛みにまみれた手で　何を掴むの

星空の大海よ　葉擦れの声よ
私を包んだまま　ゆらりゆらり

芯が溶けるほど熱を帯びて　ゆりかごの中
膝を抱えて眠る　ワタシは独り

そっと手を差しのべた　鏡の向こう
少女のままのワタシ　無邪気に泣いた

痛みにまみれた手は　土に汚れて
膝を抱えて眠る　胎児のように

夜明けに焦がれながら　ゆりかごの中
優しく眠るように　土に還るの

怨恨白昼夢

薄暗い闇夜に咲いた紅い華
滲んでく血を糧に膨れ上がる

灯りが照らす　吐く息は白く舞い睫毛は凍る
奪われた明日(あす)　胸を刺した　痛い痛い痛い
遺恨握りしめ

消えて

殺したいほどナイフを深く刺して
唇を噛み切るほどに
きっと後悔なんかはしない　しないから
余剰憎悪を何処へ

小さな部屋　独りで声を殺し泣いた
傷口は少しずつ開いてゆく

何の罰だろう？　虚構罪業受ける報いは重く
焦げるほど焼きつく血の味　じわじわじわ
不浄躊躇わず

失せて

殺したいほどナイフを深く刺して
食いしばる歯折れるほどに
拭っても落とせはしない　しないから
奈落の底に落ちて

消えて

殺したいほどナイフを深く刺して
刃先　地を貫くほどに
損壊の玩具いらない　いらないわ
廃棄　土へと還す

そうやって夢で何度も刺した
互い違(たがう)う血を流して
一生分かり合う日など来ない　来ないから
二度と出会わぬように

臆病デカラビア

巡り巡る星の輪に
僕の未来願い全て託す

夢の途切れ間に揺らいだ朝焼け
消えたわけじゃない輝き見据えて
熱を持つ身体抱えて走れば
昨日までの淀んだ目にさよなら

立ち向かう勇気など無くても
迎え撃つ覚悟を

後ろ向きな歩みでも
費やした力は同じさ
無数の悪意が阻んでも
僕の歌を止められはしないよ

夜が訪れりゃ確かに見えるね
見えるものだけが確かなものだね
いつもここにある心は見えない
見えるものだけが果たして全てか？

立ち竦む臆病な僕が
目を逸らす真実

届かないよこのままじゃ
言い訳ばかりなら尚更
誰も彼も一人なんだ
罪も罰も全て一人背負う

後ろ向きな歩みでも
費やした力は同じさ
無数の悪意が阻んでも
僕の歌を止められはしない

臆病なんだ誰だって
それで良いじゃないか僕らは
巡り巡る星の輪に
僕の未来願い全て託す

In the deep forest

Fall into the deep dark forest.

I can't see anything in this place.
How far could I go? Where should I go?
A clear sky dissapiered but I should go to the long journey.

Trust the image of my mind and take the next step.
Split the wind to find a blue-blue sky.
Someday I could see...
Move forward to my forlorn dream.

Ray of hope came through from trees.
I thought I could see far away.
Suddenly the sky clouded over and cold rain came down to forest.

Sky is not only fine weather.
Anyway, I should go.
Struggle to find the way and run through the fate.
Move forward from my forlorn dream.

Many dreams have gone away from me.
Recall cowardice of my heart.
But I should face adversity with courage forever.

I fell scared and alone but I won't turn back.
Trust the image of my mind and take the next step.

Split the wind to find a blue-blue sky.
Someday I could see...
Move forward to precious thing you should believe.

My legs are shaking but I won't stop walking.
To be able to escape from a deep forest.
Hold a key of hope.
Cut through the woods to go futher away.

And I Arrived to Arcadia after a struggle.

水底に沈む光

潰えし都に　人の夢と栄え
今も残滓として　世界を満たして

水面に波打つ過去　いつかは消えゆくとも
光の眠る底に　消えない宿る思い

迷いし世界に　夢と思い背負い
強い決意秘めて　明日を目指して

心に波打つ声　どこにも戻れないと
孤独の旅の果てに　目覚める古い勇気

水面に波打つ過去　いつかは消えゆくとも
光の眠る底に　消えない宿る思い

命の声　風のように　水底より後押しして

孤独の旅の果てに　手にする消えない未来

ディザイア

ゆらり　夜が
言葉を　待たずに　オチる
壊れそうな　時間が　涙ぐんでいた

長く過ぎてくように
見えていた明日で
あしあと捜すたびに
行き場を見失って

すぐに　夜が
迎えに　来ても　私は
壊れそうな　時間を　抱きしめていた

遠く逃げてく人よ
黒纏いの私を
一人になどしないで
消えてしまうまで……

崩壊の果てノ戦意

ありふれた日常(とき)　音(ね)もなく崩れて
昨日の残照さえ　見つけられず

血の匂い　呻き轟く現状(いま)に
積み上げられた　?の山

不条理さ　その裏の
無量の悪意に
運命(さだめ)も　見いだせず
翻弄される

絶望への吐露　過去へと捨て去り
この禍切り裂く武器(スベ)　握りしめ

止めどなく　続く悲嘆の連鎖
それでも戦意(イシ)は　瞳にある

記憶へ　消えていった
幾千の願い
悲しみ　怒りにし
壁(テキ)を殲滅する

無慈悲に抉られる　肉体(カラダ)の痛みと
最期(シ)恐れ崩れゆく　理性携えて
キョウキに身を委ネ　恐れ眠らセテ
全テ絶ヤス　悲愴ノ覚悟
胸ニ宿シテ

タヤスマデ・・・

Eagle

朽ちた森の中 闇に潜み死食する
深い眠りから目覚め翼広げる

風を斬るように空を舞い 稲妻のように降下
標的を定め逃さない 今 刃振り下ろす

内に秘めた爪 瞳の奥見据える先
二人出会う事 運命(さだめ)だと言うのなら…！

天空の王者雄々しく舞い 黒い羽の雨が散る
高速で走る地の果てにスピードを緩めない

十字架のエンブレム靡かせて無敵の証を示せ
遮る全てを薙ぎ払い その先へ駆け抜ける

天空の王者雄々しく舞い 黒い羽の雨が散る
高速で走る地の果てに 今 刃振り下ろす

振り下ろせ

星空逃避行

静かな夜の丘　ただ１人眺めてた
居ない誰かよりも星空が近くて

消えそうな光　終わり告げるように
横に座る君がそっと手を握る

ねぇこのまま君に手を引いて欲しいから
見えない暗闇をかき分けて遠くへと走り出す

キラキラ光る星は寄り添って離れてしまう
遠い２つの光　いつか届くのだろう

ふさぐ心で零れだす
今さら気づいた　すぐそばにいた君が好きなんだと

ねぇこのまま君に手を引いて欲しいから
瞬く間に消える流れ星　想いを伝えて

２人離れてしまってもいつかまた逢えるように
希望の扉に手が届きますように

ねぇこのまま君に手を引いて欲しいから
眩しい満月をくぐり抜け２人の影が映る
このまま私を連れ去って欲しいから
一緒に探そうよ　ここにない暖かな木陰へと

永遠と唄

夜の色が　朱に染まってく
闇に向かい　てのひらのばした

いずれは朽ちゆく花の顔(かんばせ)
絡め指先　解けはしないと

柔手つかみ走る森
絡む指　白磁人形(ドール)のよう

君とならどこへでも

黒い髪　瞳　くちびる
すべて焦がす　花の色　君と

どこまでも　明日の光　照らせ

青い春　香り　恋情
ふたり同じ　思いの色　きっと

どうか　永遠となれ
短し　恋

Euphoria ～幸福の檻～

汚れた服で傷を隠して
指先で縫い目辿る
反芻する記憶が蝕んで
蘇る悪夢は誰にも消せない

ぐるりぐるり回る
ひとりぼっち彷徨って
痛いことも悲しいことも
無いの　きっと無いの
幸福の檻

ぬるく湿った空気　吸い込んで
ぼんやりと影は映る
割れた空に舞い散る残骸
望まない結末誰にも救えない

ぐるりぐるり回る
深い森彷徨って
帰れなくて泣いてしまっても
いいの　もういいの
届かない声

この空に終わりがあるなら
迎えよう悲しみが消えるように

ぐるりぐるり回る
過ちを繰り返して
言えなかった届かなかった
願いを呟く
日常の非情

ほんの僅かでもいい
「幸せ」と呼べる日々を
愛せるように愛されますように
いつかどこかで
幸福の檻

The fairyland

Here is the world of white snow and crystals.
No one's been here before.
No one knows the secret.
It is the hidden fairyland.

An old fairyland, believed to be a fantasy.
There lies a young maiden so pure, waiting for her fate.

Beautiful princess.
Like an angel slipped through the crystal.
Princess, why are you sleeping with such a sad face?
I hope you too, have sweet merry dreams.
--Nobody knows her sorrow.

Thousands of flowers are blooming in wild.
Why not open your eyes?
Tell me the reason.
I still can't stop praying for your heart.

The world will change for something beautiful, still time will pass.
Someday when your crystal would melt can I be with you?

Beautiful princess.
Why are you sleeping for such a long time?
Is this crystal coffin, made of your innocent sin?
The space between us, is so close, yet far.
And I'll be always alone.

Still snowing, wind will blow, the world is white.
Your solitude makes you a fairytale.
Still snowing, wind will blow, the world is white.
Your solitude makes you a fairytale.

Beautiful princess.
Like an angel slipped through the crystal.
Princess, why are you sleeping with such a sad face?
I hope you too, have sweet merry dreams.
--Here's her hidden fairyland.

farewell song

大切な事ばかりが
溢れ返るこの儚き世に
躓く事を恐れずに
一人過去を断ち切る者よ

本当は淋しくて
時計巻き戻して
本音ぶちまけりゃ そう
優しい言葉に甘えていたいんだ

刻む鼓動 あの日 置き去りにした
無数の声が苛む夢に
顔を背け逃げる弱気な僕が
負けないようにと支えてくれた

君の言葉と涙を抱いて歌う
別れの歌を

臆病な心 隠す
見た目以上に強がりな僕
弱虫なクセしていつも
冷たい過去に縛られていた

孤独さえ愛しくて
静寂に恋して
だけど いつからだろう
優しい言葉を求めていたんだ

深い眠り 覚ます 天使の声が
導く場所で再び出会う
君の隣 歩く 笑顔の僕は
満たされて尚 迷い焦がれる

君の祈りと嘆きを抱いて歌う
別れの歌を

刻む鼓動 あの日 置き去りにした
無数の声が苛む夢に
顔を背け逃げる弱気な僕が
負けないようにと支えてくれた

いつか いつか 僕が大人になったら
迎えに来るよ 約束するよ
いつか いつか 君が覚えてなくても
僕の声さえ忘れてしまっても

君の記憶と心を抱いて歌う
二人の歌を

絶賛☆運命中

ただ今☆運命中　出会いは傍に

目覚まし時計を遅らせて
鏡の向こう側　新しい色
予感が鳴ったら遠回り
いちごサンド手に　駆け足曲がり角

今日も夢をみる
パステル雲
ついに見つけたの
風の先に　ときめく

運命☆練習中　心の奥に
見えるのはロマンでしょ　明日は未来

揺れるスカートぎゅっと握る
緊張してたんだ　震えているの
全部偶然と言われても
裏返したなら　それは必然でしょ？

今日もまだ来ない
待ち惚けね
ゆらりバスタイム
ぷかり浮かぶ　気持ちは……

運命☆急速中　待ちきれないの
飛び込んだ腕の中　弾けたシャボン

運命☆練習中　心の奥に
見えるのはロマンでしょ　明日は未来
絶賛☆運命中　出会いのページ
動き出す恋の音　君と始めよう

Fighter

灰色の瞳に　映る影は脆く
今を奏でる言の葉が　明日紡ぐ
沈む夕日を　追いかけたあの日と
重なる記憶訪れる　炎燃やす

高鳴ったその胸　焦がす大地　踏みしめ

迫りくる風に　髪をなびかせた　孤独な戦士よ
空をあでやかに　飾る星粒に　儚い祈りを
奇跡なんか待たず　君に会いにいくよ
輝く希望(ゆめ)　抱きしめて

流れゆく血潮を　感じてるだけで
増える温もり　求めあう心　繋ぐ
目覚めた後に　彷徨う意味を知り
溶ける熱情　閉じられた扉　壊す

冷えきったその頬　伝う涙　集めて

終わりが見えない　山を駆けあがる　無謀な戦士に
海のおおらかな　呼吸に潜んだ　渇いた悲しみ
広い世界　越えて　君はどこへいくの
湧き出る欲　惑わせて

最後の刃　たとえボロボロになっても
決して君を掴むこの手　離しはしない

目の前の道を　進み続けてる　偉大な戦士よ
時に迷いこむ　暗い胸中に　確かな誇りを
奇跡なんかじゃなく　僕はここにいるよ
輝く希望(ゆめ)　抱きしめて

Game

見つけた 淡い色 とり巻く花の中に
ユメみたとおりだわ その細いシルエットには
甘い 蜜と 罠が似合う 宝石のような瞳

★箱庭の中で 踊る 何も知らない 笑う
逃れられないの あなた わたしの広い宇宙(そら)からは・・・

見つめる 暗い街 とり巻く闇の中で
赤い目 瞬くの 怖がらないでいいから
錆びた 鍵と 罰が 似合う 魔法にかかる瞳

☆どこかに向かって 走る ゴールは わたしの手の中
とろける プールの中に 弱れて 夢中になって・・・

ふらふら 取り込む フェイクの 愛を・・・

★箱庭の中で 踊る 何も知らない" 笑う
逃れられないの あなた
わたしの 広い宇宙(そら)からは・・・

☆どこかに向かって 走る ゴールは わたしの手の中
とろける プールの中に 溺れて 夢中なって・・・

がーる・あんびしゃす☆

見つめるだけで ドキドキ
乙女なコイゴコロ
なにをしても 気が散る
それぐらい キミがスキ///

「なにしてるの？」「どうしたの？」
キミの全部 知りたくて
ツイセキだっ！ 見つけたぞっ！
キミの好きなトコ いっぱーい.。°+..。*°+

ブンセキ キミの好きなタイプ
狙う アタシ イメチェンする(`・ω・´)
キミの「好き」の言葉が
聞きたくて がんばるの！
ススメ！オトメ！
がーる・あんびしゃす☆p(`・ω・´)／

なにしてるよりも キミとの
時間が早送り
（´-`）.。oO（スロー再生で見たいな)
もうバイバイ！？ イヤだよ(´・ω・`)

キミがいない… さみしいな…
ナミダで 前 見えないよ
どしゃ降りの雨みたいに
ナミダがあふれて さみしい(´；ω；`)

雨上がりの空みたい
虹が架かる 一言を
キミの口から聞きたい
だからアタシがんばる！
ゲット したい！
キミの「好き」(//▽//)

放課後
キミが
部活をしてる
見てるだけでいい？

Veridical Greed

A gloomy devil was born in my dry soul
The ignition is the beginning of fuckin' sweet downfall
Like spread deep crimson fire
satisfy my desire
and raise another one

Dry as a bone
I buried my redemption
Dry as dust
I know what I'm doing
Follow my greed

The doomed road is never return
Hiding death behind me but your eyes are closed
Now we start to sinister commedia
Straying in inferno
Can't touch Paradiso

Dry as a bone
Slay enemy your sickle
Dry as dust
I knew who you are
This is my greed

Hades

儚き幻
浮世にひらり
群がる野生
淫ら…

冷たき悦び
闇に解けた
束の間の恋心

奏でる想いなぞる言葉
黄泉へと誘う笑顔乱れる
堕ちはしまいと微睡んで

空っぽ人形
浮世の果てで
鮮やかな灯
燃える

冷たき倒錯
傷つけ合いの
邪なる裏側

重なる想い拒む言葉
黄泉へと誘う笑顔綻ぶ
時の狭間に飲み込まれ

奏でる想いなぞる言葉
黄泉へと誘う笑顔乱れる

重なれ
番え
踊れ
舞え
目合え

黄泉へと誘う笑顔引き攣る
鬼に喰われた鬼の華

花夢の街

宵の 薄闇に
ひらく 曼珠沙華

おいでや おいでやと
揺らめく 白い腕

解けぬ まじないで絡めとる
今宵ひと時の 幻夢(まぼろし)

『明け烏 鳴かぬなら』
夢を抱けば たちまちに

いとしや いとしやと
転じて毒となる 嗚呼

解けぬ まじないが絡めとる
ひと時ばかりの 幻夢(まぼろし)
其処に ひと匙の戯れを
浮かべては沈む 微睡

紅く 紅く
咲き染まる花
揺れては誘う 獄天

今宵 ひと時の幻夢(まぼろし)を
魅せるは鮮やか 毒花

蝶と薔薇の罪と罰

初めて剣を交わす魔王
戸惑うボクに近づく

意味不だが お前隣に住む
歩き城まで５分ちょっと

そびえ立つ城に足を踏み入れてく
終焉の時を思い駆け上がり重い扉開ける

お願いそんな目で見ないで
ボクにはそんなつもりない
振り上げた剣 背後で笑う魔王
戸惑うボクに手伸ばす

屈辱だ あんな負け方して
帰り道で傷口痛む
不甲斐ない ため息つかれても
何度だって諦めはしない

未知の世界へと足を踏み入れてく
禁忌を犯した蝶と薔薇の罪と罰　扉開ける

もういいでしょ服着させてください
ボクにはそんなつもりない
シーツの上 ふかすたばこ染みて
憎いほど お前焼きつく

いつから？ ココロ征服して
呪いの般若嫉妬深く
見つめ合えば上手く笑えないよね
戸惑うボクに手伸ばす

ICON -螺旋精製、功労功績その贖罪-

(螺旋階段を歩き歩く歩いてる、どこまでものぼりくだり堕ち
ていく
そこで見つめているのは誰、作り上がるのは私)

悠久に続く脳回路(のうかいろ)

(祝福 友情 憧憬 愛玩
誘惑 懇願 賞賛 回帰)

性急に願う触回路(しょくかいろ)

(額に瞼に鼻筋に
耳に掌(てのひら) 指先と腹)

流れるように堕ちてく
螺旋階段、だあれ

触れる速度ゆるやかに
あなたとわたし

洞(うろ)とましろい剣(つるぎ)で 熟成 させましょうか
螺旋持つふたりだけの scapegoat 昇りゆくように

終焉に向かう体液路(たいえきろ)

(欲望 執着 確認 束縛
愛情 隷属 崇拝 支配)

凄惨に残る感覚路(かんかくろ)

(手首 首筋 背中 腰
唇 足甲(そっこう)爪先に腿(もも))

めぐるように満ちてく
螺旋階段、だあれ

煽る速度ゆるやかに
わたしと私

洞(うろ)の長い長い夢 断絶 させましょうか
螺旋持つあなたの贄(にえ) scapegoat 召し上げられる

(螺旋階段が終わり、終わる、終わってく、いつまでもくるり、
くるり、廻ってく
そこで数えているのは誰、かたちできるのは私
古い計算式で導き出される 粘液 流動 固形 胆汁
血液
語り出したら止まらない南からの全十二楽章
無意味な個性phenomena(パイノメナ))

流れるように堕ちてくの
めぐるように満ちてくわ

堕ちていくの私はひと り

洞(うろ)の長い長い夢 断絶 させましょうか
螺旋持つあなたの贄(にえ) scapegoat 召し上げられる

薄幸の拾い物にぬくもりを

降り止まぬ雨　頬濡らし
ボロ布のような身を貫く

そんな私をみつけたあなたは
凍えし手にぬくもりを分け合う

出会えて良かったのだと
心から切に思ったんだ
明けの見えぬ雲の間
光を見た気がした

新しき日々怖くもなる
あなたの姿消えそうで

けれど気づくあなたの心に
やまぬ雨が降り続いていると

あなたと出会えたことで
もらった希望のカケラ
拾い集めあなたに捧げられますように

誰の心にも冷たい雨降る

出会えて良かったのだと
心から切に思ったんだ
悲しい雨から守る傘となれますように
光となれるように

キラキラ　お願い

愛のきずなと
新しい明日
お願いがあるのよ
あなたの優しさを
キラキラキラと　キラキラキラと
あたしだけに　頂戴ね　お願いよ

夢見るきずな
ホントになれと
お願いがあるのよ
とても素敵あなた
キラキラキラと　キラキラキラと
優しいキス　頂戴ね　お願いよ

sweet hurt kismet

初めての傷　どんな薬も効かないまま
熱くなる程　心に刻まれる
涸れ果てた　この喉で
傷口を濡らして　うたう

響いてるのは　君と僕のキスメット
二人分け合った　傷を抱いて
君の元へ届くから
きっと

掠れているもう　吐息すら温度を失くして
ほつれゆくまま　痛みも解(ほど)けてく
降りしきる　無色の雨
結び目を探して　走る

引き抜けないのは　致命傷のフェアウェル
どんな傷だって　耐えてこれた
この痛みが守るから

忘れたくないのに　涙が乾いてく
傷跡撫でて　君を想う
あと少しで届くから
遥か

響いてるのは　君と僕のキスメット
二人分け合った　傷を抱いて
君の元へ届くから

きっと会えたなら　傷付くのはやだよ
もう一度笑って　おかえりって言って
胸の傷跡　塞いでね

嘘つき白百合

あなたに想い寄せて遠くから眺めてる
叶わない気持ち押し寄せて流される

優しく背中を押してくれた君の存在
あなたとの距離が近くなるそんな感じ
届きますように

「　大好き　」

儚い想い引き裂くように
拒絶をして遠ざかる
崩壊の始まり

真っ白の心何もかも通り抜けて
赤信号の中飛び出しちゃおうかなんて浮かぶ

１人で歩く帰り道がとても寂しくて
向かい側で笑うあなたと君が映る
２人手を繋ぐ

「　ごめんね　」

幸せそうに通りすぎてく２人の背を見送った
惨めね　許さない

泣いて泣いて泣き疲れてもまだ喉に詰まる
水の中で息ができないそんな感じ
ぷつり切れる糸

「　うそつき　」

奥に眠る悪魔の目覚め
身体を打つ鼓動が
さあ君に白い百合を飾ろう
無神経な笑顔に
首からもげ落ちる

ヒトリノモリ

見知らぬ森で目を覚まし彷徨う
暗澹たる空が木陰の隙間を通る

パパとママいつに帰るの？
突き付けられる
現実が
冷たくて
冷たくて
ねぇ痛いよ

さあ逃げなさい　無残に消える前に
誰１人助けはしない
愛されず誰を愛せというの
あてもなく出口を探して

どこを歩けど襲い来る既視感
遠くで鳴く鳥　小さな灯り吹き消すように

どうしてなの？　酷い仕打ちね
癒えることない
傷跡が
蝕んで
蝕んで
ねぇやめてよ

さあ逃げなさい　汚れた細い脚で
ここにはもう居場所などない
分かってと誰にも言わないから
幽かな光へと目指して

さあ逃げなさい　壊れてしまう前に
ここにはもう居場所などない
もう１度生まれ変われるのなら
幽かな光へと目指して
果てしない悲劇の終わりへ

鬼畜魔王と童貞勇者

白い蝶と黒い薔薇の花
目覚め触れ合う日を

窓から覗きこんだ　下界を駆け抜ける勇者よ
何が好きか嫌いか　互いの共有点を探して

下弦の月明かり　締め付ける胸の痛み
抑えきれないぜ　禁断の鎖断つ

細い身体そっと手を這わせて
誰も知らない楽園(Heaven)へと
薔薇の戦場　目をそらさせない
お前は俺の

知らなけりゃ良かったと思うことは幾らでもある
気安く触るんじゃない　怒りと悲しみ混ざり足踏み

全て壊したい　寒い夜(よ)の終わりはどこ？
深い罪背負う　分かっても戻れない

膝を曲げて唇奪って
耳の側でそっと攻める
誰の指図　そんなもんはいらない
もう離さない

細い身体そっと手を這わせて
梳いた髪を伝い香る
薔薇の戦場　目をそらせさない
もっと深く

閉じた扉　俯く視線と
俺の鍵で開けてやる
蝶は汚れ水面(みなも)へ堕ちゆく
お前は俺の

L’ afes melferter (ՅԺԵԻՄԱԾ ՑԱՅՄԱԻԱԻ)

Ի՞ՅԱՊԱԱԱԺՅ ՅԱՊՅԱԲՄԵՊԱ ՅԵՅԱ ԱՄ, ՑԵՅ
ՅԱՄ ԸԵՅՊՊԸԱՅ ՄԸԱՅՊԱԵՅ ԱՄ ՅՅՅ.
ՍԱՊՄՑԱՅՊԱՅ ՅԱՄ ԸԱՅԱԾ ԱՄ,
ԲԱՊԱՍՊԱՍԱԾԱԲԱ ՕԵՊՑԱԻՅՅԱ ՄՊՅԻՑ
ԱԾՑ.

ՅԱՄ ՊՊԱՊԱԾԱԾ ՅԱՍԱԺԱ ՅԵԱՅ,
ԵՍ ՄԺԸՊԱԱԺՊ ՅԱԱՊՄ ՑԵՅ
Ի՞ՊԻՅՊԾՊՅԱ ԱԺՍՊԱԾԱ ՅԱՅՅ.

Մ՝ՅԱԺԱ ԸՅԱԺԱ ՄԵՊԺԵԻՊ ԱՊՅՊ.
ԵՀՅԻՊԺՊ ՑԺԵՄԱ ՑԺԵՄՊՊԱՊ,
ԱԺՍՊԱԾԱ ԱԺՅՅԾ ՅԱՍԱԾԾԱԺՅ.
Ի՞ՊԻՄԸԱՅՊԱԱԱ ՅԱԾԵՅՊ ԱՊԸ ՑՅՅ ՊԵ.

Ի՞ԵՍԱՑԱԱ ՀՅԱՍԱՑԱԱ ՀՅԱՍԻԳԱԲԱ
ԱՄՍԻԱԱԱ ՊՅՅ ԱՅՀՅԱՅԱ ՄՅԵԲՄԵ.
ՅԺՊԻԵՊՄ ՍՅԸՊԱՍԺՊ ՄՅԵԱ ՅԻԱՅԺԾ
ՄՅԱԱԱՅԱ ԱԺՍՊԱԾԱ ՑԵՅ ԱՊՅԱԱԱՅԱ
ԱԺՍՊԱԾԱ.

Ի՞Ո ՍԺԻՅԱԻՅ ԱԾ ԱԱԱՅԱԸԱԱ ՀԵ
ՑՊԾԾ Ի՞ՊԻՅ ՑԵՅ ԲԱՄՊԺՊՅԻԱ, ՑԵՅ ԱԾ
ՅՊԸ ՅՊՅՊԱՊ ՅՊԱ ՊԵ.

Ա ՅԱՊՅԱԲՄԵՊԱ ՑԵՅ ԱԺՍՊԱԾԱ.
ԱԾՅԱՅ ՅՊՅՄԵԺՊ ՅՊՅ ՑԺՊՀԱԾ,
ԱԺՍՊԱԾԱ ՀԱԾԱԲ ՅԺ ՅՅՊՅՅՅ.
ՍԱՄԵՄԱՅ ՄԺՀԵԺՍԺ ԱԱՊՊԱԾԱ ՊՅՅ
ՅՊՊԱ.

ԾԱԺԵՄՊԱԱ ՊԵՄՊԺԵԲԱԱՊ ՀԱԾԱԲ
ՅՊՅՅՅ

ԾԱՊՊԱԱ ՅԱԻԵՅՊԺ ՅԱԻ ԾՊԱԾԱԺԺԱ
ՅՊԵՀՄԵԲԱԱՊ ՅԱԾ ՊԵ
ԱՅԱԱՅԱԾԱԱԱԱՅՅ ՍԺՍԺԱՅՅԱՅ
ԱՅՊԱՅՅԱԾԱԱՊ
ՀՅԱԱԺՅ ՅԵԻՊԻԵԺԺ ՅՅՅՄՅԱՅԺՊ ՍԱԲ
ՑՊՅԱ.

ԱԾԱՄԵԻՅ ՍԺԻՊՅԱԻՅԱՅ ՅՊՅՊԵՄՅԷ ՊՅ,
ՀՊՊՊԱԻ ՄԱԺ ԱԾ ՀԵ Ա ԲՅՊԻՅԻ ՑԵՅ Ա ՊԾ
ՅՅՀՅՅ

Մ՝ՅԱԺԱ ԸՅԱԺԱ ՄԵՊԺԵԻՊ ԱՊՅՊ.
ԵՀՅԻՊԺՊ ՑԺԵՄԱ ՑԺԵՄՊՊԱՊ,
ԱԺՍՊԱԾԱ ԱԺՅՅԾ ՅԱՍԱԾԾԱԺՅ.
Ի՞ՊԻՄԸԱՅՊԱԱԱ ՅԱԾԵՅՊ ԱՊԸ ՑՅՅ ՊԵ.

Ա ՄԵԲ ՅՊՅՊ ԲԱ.

Memory

夕日道　小さな影ひとつ
響いてる　あの日のあの歌が

いつの日か消えゆく　想い出は華のように
いつまでも継がれる　思い出は螺旋のように
何度も数えた涙が起こした奇跡

忘れない　どんなに辛い時も
ただ前を向いて　歩いた道
この空はいつだって遠く高いけれど
鳥のように強く羽撃いて

思い出は影

いつまでもそっと一人で歩いたって悲しみは消えない
いつまでもずっと足跡を見ていたって涙は落ちる

君の影追い続け　手にした物は何も無い
すり抜ける君の影　今はもういない

いつまでもそっと空を見上げたって思い出は消えない
いつまでもずっと下を俯いていたって涙は落ちる

君の面影　忘れたくて
僕の胸に閉じ込めていた
振り返っても後ろには足跡は一つだけ

君の事忘れない　いつまでも忘れないよ
すり抜ける君の影　今はもういない

君の影追い続け　手にした物は何も無い
僕に影　彷徨った　君はもういない　今はもういない

a wandering minstrel

どこかで感じたあの風　探して進む先へ

歩き続ける この長い道を　見つめる先では
彩り続ける　時の移ろいを　素肌で感じて

甘く　香り　開く　春の訪
歌い　奏で　紡ぐ　命の流れを

彷徨い続けて　道を見失う　闇の中でも
新たな光を　目指し進みゆく　この手をのばして

迷い　騒ぎ　揺れる　波風の中
繋ぎ　留めて　永久に　伝えてゆくから

歩き続けてく この長い道を　草原を越えて　森をくぐり抜け
どこまでも行こう　この長い道を　砂漠の果てまで　空の彼方まで

回り　巡る　季節　揺らめきの中
描き　印し　示す　風の色を
歩き　続け　ゆこう　長い旅路を
歌い　奏で　紡ぐ　時の輝きを

瞳に映したすべてを この身で刻んでゆくため

青のモラトリアム

顔のいい人頭のいい人いるけれど 僕はどれにも含まれてなくて
ただなんとなく非効率に時間を費やして 日々を暮らしてる

気がつけばほらため息ひとつ シアワセがどっか逃げた

くだらないと思ってた時間はすぐに去っていき
同じ刺激の中 おいていく
誰もが似たような不満持って 明日を見つめてる
ぬるま湯に浸かるにはまだ早い

明日はやろうと思う 7 度目の決断 いつまで経っても始まりゃしない
もっと楽にできるやり方なんてないかな？ ってそんな事思ってる

言い訳作って留まる日々 徐々に差は広がってく

分かっているだろ？ 自分が今何をすべきかを
誰に言われてするもんじゃない
肩をならべて張り合えるような相手がいるなら
石ころにつまづいてあきらめない

くだらないと思っていた時間はすぐに去っていき
同じ刺激の中 おいていく
今しかないだろこんなチャンス 手放さないで
簡単に夢を終わらせない

MY station

燃えたように赤く染まる空　見上げた
君はどこで　この空を見てるのだろうか
二人目指す　未来背中あわせ　枝わかれ
一人待つの　発車のベル

乗り込んだ　明日への列車が　走り出したの
next station　すべてが fiction　かたまる motion

通り過ぎて　行先眺めても　見あたらないの
探してるの　MY station　きっといるの　君も

胸のフィルムに　過ぎる景色を写して
n-　君宛の　絵ハガキにして　送ろうか
君は目指す　未来の駅までついたかな
僕は一人　列車の中

乗り込んだ　明日への列車が　僕に告げるよ
next station　すべてが mission　高まる tension

通り過ぎた　過去には降りられない　わかってるんだ
探していた　MY station　行先に　あるよ

僕の　未来への列車が　走り続ける
next station　出会う Emotion　すべて　non fiction

通り過ぎた　過去は振りかえらない　もう見つけたよ
いつか君の　手を握って　連れてくるよ　MY station

常闇の契約　ケガレタショウジョ

壊れた　愛玩箱(おもちゃばこ)みたいな悪夢(ナイトメア)
サヨナラ　優しいだけだった Papa と Mam

――　さぁ　今　手を握る

貴方(ふたりきりで)と二人　靴音(かかと)踏み鳴らし
いつもの時刻(まよなかに)　踊る　舞踏会
手のひらをあわせ目を瞑る
禁忌の味の『契(キス)り』

柩に　溢れ溺れるような花々
死者への　贖罪でもしてるつもりなの？

――　嗚呼　もう　戻れない

鉄錆色の装束(ドレス)　身に纏い
華麗にダンス踊ってみても
鏡には二度と写らない
戻れぬ咎の『色彩(いろ)』

貴方(ふたりきりで)と二人　靴音踏み鳴らし
いつもの時刻(まよなかに)　踊る　舞踏会
あなただけ見つめ求めあう
嘲り笑う『観測者(つき)』

鉄錆色の装束(ドレス)　身に纏い
華麗にダンス踊ってみても
可憐さを誰も讃えない
穢れに染まる『少女(イヴ)』

Overflow

零れる青い砂 崩れ 途切れ
肌を刺す無数の視線
漂う白い歌 絶えず響く
真実は淀む

運命さえ君を避ける 傷痕さえ隠せぬ
気付けば花の様に摘み取られる

真赤な舌を吸い合うように揺れて
朽ち果てても注ぎたい想い
抱き合う熱が冷めないように融けて
終焉さえも遮る

ホラなんて歪んだ理想 掲げて
嘲笑う螺旋のメロディー
連れ去って何処かで二人遂げる
枯れた声が呼ぶ

現実さえ夢を求め 夢の中で滅びる
凍えた闇の中 時は止まる

求める事を止められない心
朽ち果てても守りたい想い
連なる鼓動を加速させてもっと
涙さえも焦がして

求める事を止められない心
朽ち果てても守りたい想い
嗚呼この世界が終わっても
君を愛で満たそう

サマヨウイタミ

割れたガラス　耳を塞ぐ
湧いたノイズ　振り払って

街を歩く無数の影
雨の中で立ちつくして
融けて消えた

落とされた底のない闇
溺れて沈むように苦しみで歪んでく
涙の訳も知ることなく
喉に詰まる声を飲む

さめないように身体丸めて

爪をたてて腕を掴む
赤く腫れた傷が滲む

白い紙を書き殴って
黒く黒く変わり果てる
破り裂いて

落とされた底のない闇
抉られてゆくように痛いところを掴んで
乾くことない涙の跡
擦り切れてなくなるまで

遠き日と彷徨う明日と
息の根を止めるように睨み恨み続ける
乾くことない涙の跡
声が枯れてしまっても
何も言わない　消えて欲しい

擦り切れてなくなるまで

怪盗Ｘと純情探偵

ケースに並ぶ　美術品の中
怪盗(ヤツ)が狙う　真紅のダイヤ
迷わず　狙いを定めると
素早く　抜き取られた

残されたカードには
赤い『DEVIL』の文字
盗まれた心(ほうせき)を
取り戻すため　走るの

部屋の隅に　怪盗(ヤツ)を追いつめて
両手伸ばし　マントをつかむ
そのまま　たぐり寄せても
ひらりと　舞い逃げてく

残されたカードには
黒い『TOWER』の文字
この謎を解けたなら
怪盗(あなた)の元へ　行けるの？

教えて
行けるの？
行きたい

タワーの　最上部に昇ると
そこには　最後の手がかり

手に入れたカードには
もはや何もない
あなたへの手がかりは
ここで終わりなの？

このままじゃ終われない
ダイヤ(ハート)を取り戻す
手がかりもないままに
あなたの元へ　走るの

どこにいても

捕まえるわ

プライド

離さないこの鼓動が止まってしまう時まで
誇れるもの１つ抱えて動き始める

楽だった過ぎ去った日々
音をたてて崩れていった

全て失くした自分は不幸だ
そんな自分に酔いしれていたい？
See your face. See your mind. 必ず見つかるいつか
見つけたなら恐れるものはない

離さないこの鼓動が止まってしまう時まで
誇れるもの１つ抱えて道を切り開け

虹色の未来へ

消えない虹描いて　枯れない花咲かせて
キラリ光る未来へ羽撃け

見上げるばかりの朝日　遠くて言葉すらも届かない
俯くばかりの月日　いつかさよならをするために

湧き上がる小さな強さから　前向きな君見せてみて

褪せない夢抱えて　果てない空目指して
暗い瞳　勇気を灯して

消えない虹描いて　枯れない花咲かせて
キラリ光る未来へ羽撃け
恐れないで

暗闇ばかりの旅路　怖くて瞳すらも認めない
怯えるばかりの日々に　自分でさよならを決めたのに

笑って　小さな強さで　走り出す君見せてみて

明けない夜壊して　絶えない雨止ませて
淡い望み　世界を照らして

負けない声聞かせて　見えない明日探して
キラリ光る奇跡を起こして
輝くまで

涙ばかりの君の気持ちも　七色の灯に変えて

褪せない夢抱えて　果てない空目指して
暗い瞳　勇気を灯して

消えない虹描いて　枯れない花咲かせて
キラリ光る未来へ羽撃け
恐れないで

Rainy day

取り残されてしまうような
平日の昼前
光を遮り落とした
折れた傘伝い滴る

滅びゆくセカイの中 Rainy day
選び取った　やり直せないことを
暴れ回る海のように Raging ache Ah
自覚のない加害者

黒い雲が渦巻く

雨上がりの曇り空と
泥ついた足跡
水たまり跨いでみても
靴の隙間から蝕む

歪むノイズで生まれる Rainy day
食い潰して　足を引っ張るように
聖域を侵したがる Crazy way Ah
誰もが救い求め

死んだら負け
生きたら勝ち
単純で難解なルール
無意味に脱落なんてしないで

消える夕陽の色
後悔する今をやり直せるか

いつまで経っても子供の Rainy Day
失望して　無責任な悪魔
ほんの僅かな希望の Only way Ah
敵は直ぐ側にいる

上辺の平等横暴 Raging face
闇のハートを胸の奥に潜め
引きずり出せよ正体 Evil shade Ah
水の泡となる前に

傍白のリフレーン

肌をよせ
感じる鼓動に
耳をすませ
ふ、と寒くなる

胸を掻き立てる
こんな不安も、いつか
消える日がくるのでしょうか

繰り返し　繰り返し
焦がすひと時
夢と知りながら、明日も見るのでしょうか

眠れ　眠れ
いつか明ける夜に今は怯えたくないの
閉じ込める、心に

本当は知っているのよ
罪悪感は、きっと癒えないわ

ふいに押し寄せる
高波のように、いつかは
別れがくるのでしょうか

繰り返す　繰り返す
重む一夜の願い
手放せず、明日も待つのでしょうか

沈め　沈め
さざめく浮き世の
愛の言葉に流され、溺れていく感情

繰り返し　繰り返し
重む一夜の
幕を引くこともできず、朝日は昇り

回れ　回れ
糸を紡ぐように
絡む想いに捕らわれ、見失う現実

KICK THE REGRET

走り続ける　君の心へ
少しずつでいい　そばにいたい
「こっち向いて！」って　甘えてみても
空を見上げて　聞こえてないフリ

見えてるの？
瞳の中　私はいるの？
何してるの？
止められない　揺れる心
どうか　今だけ　Ｉ　wanna　close to you　Darling!

大好きなの　差し出した両手を
そっと包んで　大きな両手で
まだ見えない　朝の月を　追うように
探してる　君だけを

冷たい雫　まつ毛を揺らす
上を向くわ　信じているから
七色の橋　架かる夜空が
君のもとへ　繋がっていくから

届けたいの！
私の中　眠る　勇気を
受け止めて！
光の中　溶ける心
ずっと　このまま　Ｉ　wanna　close to you
Darling!

大好きなの　差し出した両手を
そっと包んで　大きな両手で
欠けていた　夜空の月　飾るように
見つめてる　君だけを

大好きなの　差し出した両手を
伝っていく　君の温もりが
欠けていた　夜空の月　飾るように
見つめてる　君だけを

大好きなの　差し出した両手を
繋いでいく　君の心が
見つからない　探すことのできない
だから　I'll　give　you　happiness　Darling！

いつも　そばにいて　抱きしめてて

干渉レジスタンス

しょうもない理由で死んでしまうのだろう
全ての生には意味があるのか

断てない抜け出せない
指図で意志を日和らせて (I've got the wrong direction.)
勝手な思想の干渉罪　手を伸ばす安定剤
ねぇ「ボクのため」は要らぬお世話

乾いた大地で乞うても落ちてこない
欲しかった物だって誰かが捨てた

底ないデキ損ない
たぶん大人になりたくない (I've known the wrong direction.)
恩着せがましくたって　見捨ててしまったって
ねぇ 次は誰のせいにするの？

この息苦しさと明日への虚しさは
きっと分からないよ
大切にしすぎて手を差し伸べすぎて
縛りたくなるの？

血は争えない

断てない抜け出せない
持ち合わせが悪すぎるよ (I can't get due to friction.)
勝手な思想の干渉罪　手を伸ばす安定剤
ねぇ　1 人にして
もう 1 度やり直して最適解を見つけられるのか？
どこで間違えたの？　何を知り得たの？
また悲劇は繰り返して

誰にもいえないキズを晒して

再会の約束

きっと　約束だよ
いつかまた　同じ笑顔で

今すぐ真っすぐ君の事　探したいけど
君が残した　ひとかけらの勇気で

歩き出せる踏み出せる　もう　迷わないから
どんな未知だって　振り向かずに進める　一人だって

覚えていますか　君と見た　色付いた世界を
モノクロの日々に　やっと見付けたよ
二人なら（君となら）塗り変えれるよ　　ほら

初めて会ったその時から　どこか知った温度をくれた　物語が始まる
初めて会ったその前から　ずっと知っているみたい　そう
二人分の助走で　もっと遠く

どうしてだろうね　帰り道　嬉しいけど切なくて
ありがとう　君のくれた優しさは　愛(いと)しくて（愛(かな)しくて）
もう少しで・・・

どんなに長い時が過ぎても　何も古びたりはしないから
いつかまた　二人出会ったあの場所で　きっと（ずっと）　待ってるよーー

はらはらと桜　舞いしきる　始まりを祝って
季節が巡って　あの夏が来れば

私から（また会える？）
見つけるよ（待ってるね）
約束の（約束の）
同じ笑顔で

たいあたり★ロマンス

きらきら輝く朝　深呼吸
君の背中めがけて
おはよ！　明るく声かけよう

ふんわり ふんわり 心はさまよう
そんな　ときは　君に問いかける
優しく笑って 首を振った
間違い探しだね

考えれば考えるとモヤモヤが積み上がる
ドンッとぶつかれ！
不器用なんだもん！

ワンツーパンチ！
恋の解答無いから

毎日新しいこと
いつも乙女 大忙し！

きらきら輝く恋　駈け出して
今は何も知らない
君に全力　追いかけよう

ぽたり　ぽたり　涙こぼれだす
そんな　ひとり　胸が痛い時
身体を寄せれば どうしてそっと
撫でてくれたんだろう

乙女心は難解で複雑な迷宮です
胸の高鳴り
ずっと止まらない！

1、2の3！
恋は飛び級　できない
いつでも　本気モード
進め乙女 成長します！

きらきら輝く恋　芽生えたの
君のことを知らない
だから　なんでも　聞きたいよ

ワンツーパンチ！
恋の解答 無いから
毎日新しいこと
いつも乙女 大忙し！

きらきら輝く恋　芽生えたの
君のことを知らない
だからなんでも聞かせてよ

もっと気持ち知りたい
君に全力 追いかけよう

Snow Roads -それぞれの旅路-

遠くまで　歩いてきたの
あの日の面影を
重ね合わせるように

幾度も　四季巡りて
私たち　　を通り過ぎた
その姿は変わるけど

こんこん降りゆく　沫雪が
見せるは　あなたの暖かな笑み
湿り雪を　すくい抱き
眠りにつくだけ

不安な夜　語り描いた
平穏な日々が
僕たちの夢だった

だけど日常(そこ)には何か
大事なものが足りなくて
旅の軌跡　顧みる

ごうごう逆巻く　白雪は
己の進むべき　道を隠す
雪明かりで　探すけれど
未だ　見つからず

日は皆を　揺り起こしてく
私たちは snow roads　行くのだけれど
風はあまりに　冷たいから
セピア色のローブ　羽織って

ほし☆うた

キラリと光る星の
カケラを集めて

キミの瞳にささぐ
笑顔もあふれる

ひとりで描いた夢
あの夏に置いてきたの

心　心　溶かし　今を
キミと　キミと　つなぐ　未来

夢から覚めないまま
二人で流れ星の詩を

この世界　飛べるはずで
キミのために　飛べるはずで

昨日と明日の星
わたしの手の中に……

フワリ流れる雲の
向こうが見たいの

わたしの手を伸ばして
涙をぬぐうよ

ひとりで祈った夜
あの空も越えられると

光る　光る　時の中で
少し　少し　強くなれる

夢から覚めたらほら
わたしとキミの星にのって☆

この世界　飛べるはずで
キミの羽で　飛べるはずで

明日の空はきっと
二人のための色……

ずっと眠っていた
朝は来てほしくなかった

ずっと探していた
目を覚ます何かを

光る　光る　時の中で
キミと　キミと　つなぐ　未来

明日の答えはほら
わたしの胸の中にキラリ。

この空と海をつなぎ
遠く　光る　星も　キミも

未来のカケラがほら、
二人を呼んでいる

熱帯夜

予感させる その口紅（ルージュ）
Can I kissing you ?
理性が邪魔をするなら
瞳を閉じて

朝はもう来なくていい
甘い声を濡らしたい
君もそうだろう

　冷めない素肌を
　重ねた熱帯夜
　期待に応えて
　抱き寄せる肩から
　君を…狂わせてみたい ひと夏

喉を鳴らして飲み干して
余さずに
愛が無いなら無いままでいい
それでいい

髪を掻きあげる指が
刹那数えたとしても
今はこのまま

　身体を震わせ
　溶け合う熱帯夜
　なにもかもを求めて
　なにもかもを奪った
　なのにもっと深入りしたくなる
　君を…知り尽くせるまで ひと夏

冷めない素肌を
重ねる熱帯夜
どんな恋の思い出も捨て
ただ感じるままに

終わりにできない
二人の熱帯夜
なにもかもを与えて
なにもかもを奪われ
だけどもっと深入りして欲しい
君に…知り尽くされたい ひと夏

向日葵のエチュード

少しだけこの胸のせつなさ
とかすように降る太陽
青空へ高く手をのばして
受けとめる夏の風

うれしい事もかなしい事も
全部　打ち明けよう
たのしい時もさみしい時も
いつも笑ってて

これから季節が過ぎて
少女は大人になる
それまで見守っていよう
向日葵の丘の上

時には冷たい雨が来て
時には涙して
時には心傷つくけど
それでも花は咲く

うれしい事もかなしい事も
全部　受け止めよう
たのしい時もさみしい時も
いつも顔あげて

これから季節が過ぎて
少女は未来を知る
それまで歌いつづけよう
向日葵の丘の上

大切な思い出
大好きなあの歌
くちずさむ旋律
向日葵のエチュード

これから季節が過ぎて
少女は大人になる
これから季節が過ぎて
少女は未来を知る

まぶしい季節の中で
少女は歌を歌う
向日葵の丘の上で
向日葵のエチュードを

禁忌

見えない声が誘い
餌となり禁忌を犯す　命のうた

消えない心の傷
救世主(メシア)を求め続けた　あの日の夜

蔓延る積怨(せきえん)はひどく
私バラバラに崩して

涙の音(ね)だけがただ聞こえ
幽かに言った「幸せに生きて」

今あなたを願うなら
果てない夜(よ)も孤独に負けぬようにと

今はただあなたを叫んでる
永久の命と　あなたとの約束を

There is not your will there

The snow which falls in the lake is disappear in an instant when it touches the water
But human's soul are different
Even if they die, they revive and will attack you

Law is unchanging
You were seized with the greed of blood
And you became lunatic
You will be retaliated for the people whom you murdered

You should already know that
There is no redemption
You should already know that
There is not your will there

I forgot it far back in the past
Pains, sorrow, anger, grudge, These negative feelings
Am I lunatic same as you?　Where are you now?
The moon rises silently

pride
envy
wrath
sloth
avarice
gluttony
lust

Sins controls a human's souls
Sins controls a human's souls
Sins controls...

The snow which falls in the lake is disappear in an instant when it touches the water
But human's soul are different
Even if they die, they revive and will attack you

Law is unchanging
You were seized with the greed of blood
And you became lunatic
You will be retaliated for the people whom you murdered

You should already know that
There is no redemption
You should already know that
There is not your will there

no redemption

刻限　～Time Limit～

鏡の中　映る笑顔
どこか歪んでいる
繰り返す　この痛みに
気付かない振りした

強がっている　心の奥
臆病な自分　前に進めないままで

向かう未来(さき)に　何があるの？
だけど　今はまだ答えないで
ただ抱き寄せて

いつか見た　夢の続き
想い描けなくて
止まらない　時の流れ
身を委ねられたら

沈んでゆく　心の海
伸ばした指先　何も掴めないままで

歩む旅路(みち)は　どこへ続く？
だけど　今はまだ聞かせないで
ただ眠らせて

向かう未来(さき)に　何があるの？
だけど　今はまだ答えないで
ただ抱き寄せて

true

願いの果てで　セリフをなぞって
青空遠く　ここから見えていたの

FLASH BACK　手の中に
廻る世界への涙は　昨日よりもせつなくて

きっとそこから見えるの　闇が消え去ってく景色
なぞっていくのかな。

失くした夢と　落としたカケラを……
僕はひとつの　約束につないでく

FLASH BACK　手の中で
廻る世界への涙が　昨日とはちがうカタチ

きっと僕らがたどった　そこは約束の未来
なぞっていくのかな。

なぞっていくんだね――。

Gasluifesen*Tydiesto (ընդհանրություն*ուղղություն)

ցանց ընդհանրություն ուղղություն
կապակցություն ցանց
ստեղծում քաղաք ցանց կա
<դեմ դեպքերը դեմոնստրացիան (Ուերագե!)> ընդունելություն
ստ

բոլոր ազգությունների ներկայացուցիչներ
պետք է ցանց ստեղծեն.
քաղաք բուսք ունի ստեղծված.
ցանցային օգտագործող գրությունները,
ա ոչ քաղաք քեզ զա
զանգվածային հոսքերի
բոլոր ազգերի ցանց ունի

ցանցային տեղեկատվության ցանցերը
դրանք հեռագրեր, նամակներ ցեղ կա.
խնդիրներ ունի
գոյություն ունի

ցանց ընդհանրություն ուղղություն
կապակցություն ցանց.
ստեղծում քաղաք ունի զանգվածներ կա
ուրիշ դեղեր, հանդես գալիս ցեղ ունի.
գոյություն ունի
քաղաքացիական ինքնակազմակերպումներ.
խնդիրներ ունենալ ցանց.
<դեմ դեպքերը դեմոնստրացիան (Ուերագե!)> ընդունելություն
ստ.

ցանց ընդհանրություն ուղղություն
կապակցություն ցանց.
ստեղծում քաղաք ունի զանգվածներ կա
ուրիշ դեղեր, հանդես գալիս ցեղ ունի.
գոյություն ունի
քաղաքացիական ինքնակազմակերպումներ.
խնդիրներ ունենալ ցանց.
<դեմ դեպքերը դեմոնստրացիան (Ուերագե!)> ընդունելություն
ստ.

ցանց ընդհանրություն ուղղություն
կապակցություն ցանց.
ստեղծում քաղաք ունի զանգվածներ կա
ուրիշ դեղեր, հանդես գալիս ցեղ ունի.
գոյություն ունի
քաղաքացիական ինքնակազմակերպումներ.
խնդիրներ ունենալ ցանց.
<դեմ դեպքերը դեմոնստրացիան (Լեգ!)> դեմոնստրացիան.

White world

Where am I drifting in?
Cold and white place.

I don't remember all.
What's this sadness?

Too far from everything.
Silent solitude.

Drowsiness come surely.
Sweet and scary.

Drifting, Drifting, Drifting, Drifting
Too white world.

Who was the calling me,
with the kindly voice.

Was it my mishearing,
or was it true?

Maybe it's long time ago,
or it was not.

I want to talk with you.
But it's not comes true.

Drifting, Drifting, Drifting, Drifting
Too white world.

かぜのしらせ

涼しい風が　茜色と絡まった
夜が近づいて
君と手を繋ぐ　あのぬくもり思い出し
時をすごしてく

「もっと一緒に　ずっといて」
伝えたい言葉をソラに打ち明けたなら

Ah　つながったこの日のうれしさ
何度も胸を叩くよ
Ah　はじけるようなその笑顔に
やさしく風が流れた

White Wish

白く凍りついた窓辺見つめ　ふっと溜め息ついていた頃
あなたからの電話で　あわい夢が広がってく
遠い遠い世界へ　まだ見ぬ雪の街へ

一緒に行こう二人で　弾む声に心の距離が
近づいてく　あなたとの初めての冬が来るよ

「けぶる雪煙を越えた先に　見た事もない景色があるから」
あなたの言葉聴いて　思い馳せる山の上に
綿帽子の街並み　もうすぐ未知の国へ

連れて行って　あなたの過ごしていた思い出の場所
もっと深く知りたい　新しい季節が来る

流れて行くリフトに　高鳴ってく胸の鼓動
少しだけ怖いけど　待ってて　辿り着ける…！

駆け抜けてく　光の粒と冷たく澄んだ風に
飛び込んでく　一歩が粉雪に包まれてく

追いかけてく　遥かに続いてくあなたのシュプール
わたしだけの景色を　今ここで見つけたいの

Wiasta Yeqma (Фаэтгэ Лсэйоэ)

Дс ωаэтгэйнстіуьэй
Sэо qс зэи эшhасhфс
Ж̌а ωah тса, фао qс гдсзаэйфат, эh qсй̈
Sгh, сосэіїгhэй̈ (Лсэї) Ж̌а qсфдэh ро

Dωah фіфіэшьэй тс жсоh эзо zсhэоьт
Пшэйфатhэ сh зі'hоэ
Lдэзгсїza эh эhпо
Ж̌і фао ої иэо іо оітz сh эо
Dа тс идьэйh сїтоо жэїтэзгэ фа эо
Ео эдэhро жсоh гдэзгс
Ґэзгс фah эсωсїhэ
Ґіэй эhпо, qс зэйиса

Lафэй уі гіт т'эо аїоэїтс
Θэи уізгэафат иа ртэйгэфат эфіс
Θэ, зэ...hэтгэйh ро...
Θэи qіωіhізіфатї

Дс ωаэтгэйнстіуьэй
Sэо qс зэи эшhасhфс
Ж̌а ωah тса, фао qс ωаїтдіэй оіэй, эh qсй̈
Фафаьзсфат, фао qс зэаті
Лсиаэт оасоіэй
эсзаэсза оіэйіфьз
Лэзос гдэйиа qсзаозтэh ої эhі
Sгh, сосэіїгhэй̈ (Лсэї) Ж̌а qсфдэh ро

Жсфьзфэh, ої zс тс їфэ тсзсзс
Дс фсзгьз иch дэhиэ
Θээ, оэуьй̈ Ж̌а ωah тса,
Фао qс зіафсїфэфат зэоhфат
Фэтиьфат иа эгзhаэ уа исгэзэо
Лсс, эо qс ωітzаhэз
Ґэзгс эо гдэйиаїфэ
Даоээзсэй, їфэ зэйиса

Ж̌ь уэтс уі qсэйzс фэзz' жсоh
Лізисаьуьэй эфа hэ уэтс уі qэоӧ
Ґэуь...hэтгэйh ро...
Фао зэисо эзітсоhїтсї

Дс ωаэтгэйнстіуьэй
Ґі эаоптз эhпофат оіэй
Ж̌а ωah тса, фао qс гдэзаэйфат, эh qсй̈
Пэїтэ ої зэи эаоса гдьозі
Жсэйωэфат фа зэзьїэс
Sэо ртсзрсazі оіэйіфьз
Ж̌h zсhгдьо, гдьhзэгдьо, эо qс зэїидьо
Sгh, сосэіїгhэй̈ (Лсэї) Ж̌а qсфдэh ро

Дс ωаэтгэйнстіуьэй
Sэо qс зэи эшhасhфс
Ж̌а ωah тса, фао qс гдэзаэйфат, эh qсй̈
Фафаьзсфат, фао qс зэаті
Лсиаэт оасоіэй
эсзаэсза оіэйіфьз
Лэзос гдэйиа qсзаозтэh ої эhі
Sэh тіэйзьфэh (Лсэї) Лсэйоэhωсзаі Фафаьзсфат,
фао qс зэаті
Лсиаэт оасоіэй
эсзаэсза оіэйіфьз
Лэзос гдэйиа qсзаозтэh ої эhі
Sэh тіэйзьфэh (Лсэї) Лсэйоэhωсзаі

ヨルヲカケル

はばたけぬ心　隠し
いまだ遠い　夜明け待つ
彼方に響いた　声は
ゆらぎ　（歪み）　落ちる
祈りの音

とぎれた　希望の唄
君とふたり　ここで歌うため
いま　旅立とう

つばさを捨てた　君が
眠る世界を　翔る
この決意　胸に秘め

はばたけぬ未来(あす)を　隠し
いまだ明けぬ　夜の闇
記憶に流れる　色は
にじみ　（歪み）　熄える
祈りの灯

ついえた　希望だけど
君とねがう　ここにある想い
いま　抱きしめて

つばさを広げ　君が
忘れた唄を　さがす
あの誓　守るため

声もなく叫んだ
君のそのかなしみを
背負って
傷が癒えるまで

つばさをひそめ　とざす
眠る世界に　生きる
ただ君を　守るために　翔る
未来に　灯る光を　信じ
さがそう　あの唄を

俺とオマエと

Ｔシャツで汗拭き笑う俺たち

陽は昇り雲が泳ぐ　陽は沈み星が光る　いつも

この長い坂を自転車立ち漕ぎ
ハンドルをふらつかせて走る
それが不可能なんて他人の決め事
ゴールを導き出して　その手で掴め

大雨でずぶ濡れ走る俺たち

昨日と今日どこが違う？　同じような毎日が続く

この長い坂を自転車立ち漕ぎ
止まりそうで止まることない想い
大多数の言葉に惑わされないで
磨かれた心は光放つ

この境界を飛び越えて共有し合う感情

この長い坂の結末(おわり)が近づく
精いっぱい震える脚で走る
強く抱き合って涙滲ませる
地平線に射し込む光　二人を照らす

ゆとりアドベンチャー

のんびり歩いていこう まだまだ先は長そうだよ
見たこともない世界はワクワクをくれる魔法だね

いーよね 雲に乗っておさんぽ
いーよね 消えない流れ星
あれもこれも 空に描く

さぁ ゆとりモードで始めていきましょ
そう 小さな何かに気付けるから
さぁ 冒険の一歩を踏み出そう
そう 素敵な仲間そばにいるから

へろへろになったカラダ ふかふかが癒してくれるよ
難しいコトだらけでなんだかもーイヤになっちゃうね

どーしよ 経験値が足りない
どーしよ お金も全然足りない
夢と違う 痛い現実(リアル)

まぁ 焦らないでゆとりでいきましょ
そう 少しずつでも強くなるから
まぁ 涙目になる時もあるケド
うーん 難しいね人生ってヤツは

いーよね 無敵のスーパーヒーローって
いーよね 素敵なスーパーヒロイン
あれもこれも 空に描く

さぁ ゆとりモードで始めていきましょ
そう 小さな何かに気付けるから
もー ヤなコトぜんぶ忘れちゃおうよ
そう おひさまが今日も笑いかけるよ

さぁ 焦らないでゆとりでいきましょ
そう 少しずつでも強くなるから
さぁ 笑いながら歩いていこうよ
そう 悲しい気持ち吹き飛んでくから！